

まつしん

MatsuShin
Business
Report

No. 146

景況 レポート

CONTENTS

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

業種別の業況

⑦ ⑧

経済指標

⑨ ⑩

特別調査

「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

調 査 要 綱

1. 調査時期 2022年 3月
2. 調査対象期間 2022年 1～3月期（実績）
2022年 4～6月期（予想）
3. 調査方法 当金庫職員による聴き取りおよび留め置き調査
4. 調査対象 当金庫取引先事業所
5. 調査対象企業数・有効回答数等の内容

区 分	調査対象企業数	有 効 回 答 数	有効回答率(%)
製 造 業	59	58	98.3%
小 売 業	58	57	98.3%
サ ー ビ ス 業	48	48	100.0%
建 設 業	50	49	98.0%
合 計（総 合）	215	212	98.6%

6. 分析の方法

この調査は、各質問項目に企業の総回答数に対する「良い（増加等）」および「やや良い（やや増加等）」と回答した企業の割合と、「やや悪い（やや減少等）」および「悪い（減少等）」と回答した企業の割合との差D Iを中心に分析を行っています。

※ D I（業況判断）＝「良い・やや良い」－「悪い・やや悪い」企業数構成比（％）

傾向値＝（4期前～前期までの合計＋3期前～今期までの合計）÷8

傾向値は4期間2段階の移動平均法で算出した数値です。

概 況(総合)

区 分	2021年 10月～12月	2022年 1月～3月	2022年 4月～6月予想	概 要(総合)
総 合				2022年1～3月期（今期）の業況判断D Iは▲44.3となり、前期比21.0ポイント悪化となりました。 主要指標D Iは、売上額が▲42.0（前期比38.7ポイント悪化）、収益が▲48.6（同31.4ポイント悪化）、資金繰りは▲23.1（同10.1ポイント悪化）となりすべての主要指標が悪化しました。設備投資実施企業割合は31.1%となり、前期比0.9ポイント増加しました。
製 造 業				業種別の業況判断D Iは、製造業が▲24.1（同10.5ポイント悪化）、小売業が▲77.2（同37.5ポイント悪化）サービス業が▲39.6（同変わらず）、建設業が▲34.7（同34.7ポイント悪化）となり3業種で今期の業況は悪化しました。
小 売 業				来期の予想業況判断D Iは、2.8ポイント改善の▲41.5となり業況の改善を予想する結果となりました。
サ ー ビ ス 業				業種別の予想業況判断D Iは、製造業が▲43.1（同19.0ポイント悪化）と悪化する予想となり、小売業が▲63.2（同14.0ポイント改善）、サービス業が▲31.3（同8.3ポイント改善）、建設業が▲24.5（同10.2ポイント改善）と改善すると予想しています。
建 設 業				

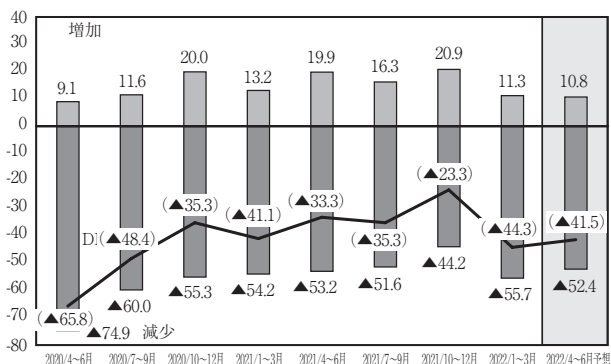
（このお天気マークは、景気指標を総合判断したものです。）

指数 31以上 30.9～21 20.9～10 9.9～-9.9 -10～-20.9 -21～-30.9 -31以下
好調 ←        → 低調

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

	2020/4~6月	2020/7~9月	2020/10~12月	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
業況判断	▲ 65.8	▲ 48.4	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 33.3	▲ 35.3	▲ 23.3	(▲ 31.2) ▲ 44.3	▲ 41.5

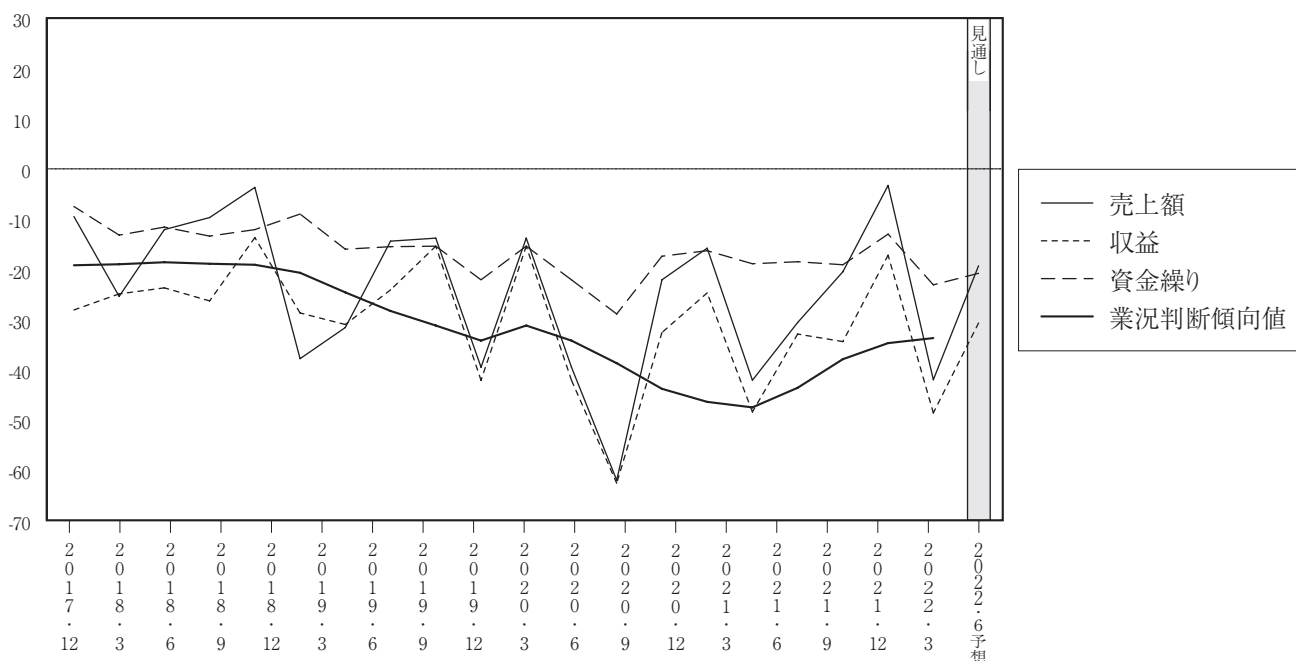
●業況判断



●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)
〔前期と比べて〕

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
売上額	▲ 42.1	▲ 30.6	▲ 20.5	▲ 3.3	(▲ 29.8) ▲ 42.0	▲ 19.3
収益	▲ 48.4	▲ 32.9	▲ 34.4	▲ 17.2	(▲ 34.9) ▲ 48.6	▲ 30.7
資金繰り	▲ 18.9	▲ 18.5	▲ 19.1	▲ 13.0	(▲ 21.4) ▲ 23.1	▲ 20.8
業況判断 傾向値	▲ 47.5	▲ 43.6	▲ 37.9	▲ 34.7	▲ 33.7	

●指標の推移状況 (DI値)



●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 10月~12月	2022年 1月~3月
1	売上の停滞・減少 44.2	売上の停滞・減少 57.5
2	人手不足 28.4	人手不足 25.9
3	利幅の縮小 23.3	利幅の縮小 25.0
4	材料価格上昇 20.5	材料価格上昇 21.7
5	大企業との競合 12.6	仕入先からの値上げ要請 17.0

・企業数割合 (上位 5 項目)

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 10月~12月	2022年 1月~3月
1	経費の節減 47.9	経費の節減 54.2
2	人材の確保 34.9	人材の確保 32.1
3	販路の拡大 24.7	販路の拡大 25.5
4	技術力の強化 19.5	技術力の強化 17.5
5	教育訓練強化 14.4	教育訓練強化 13.2

・企業数割合 (上位 5 項目)

製 造 業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
業況判断	▲15.4	▲21.3	▲20.0	▲13.6	(▲6.8) ▲24.1	▲43.1

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
設備の水準	▲3.8	▲21.3	▲21.7	▲25.4	(▲20.3) ▲17.2	▲19.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	36.2%			27.6%		

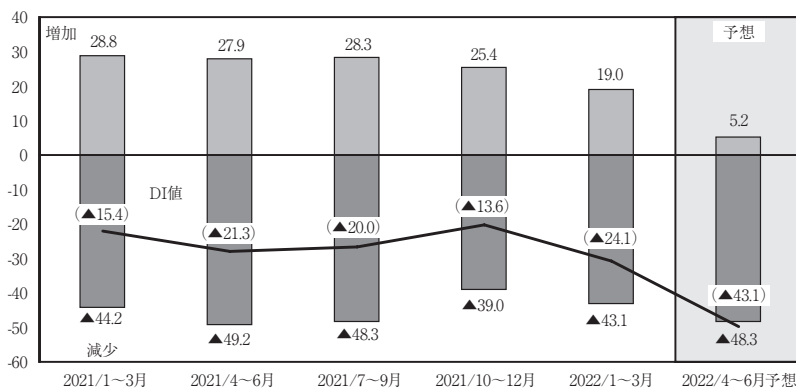
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

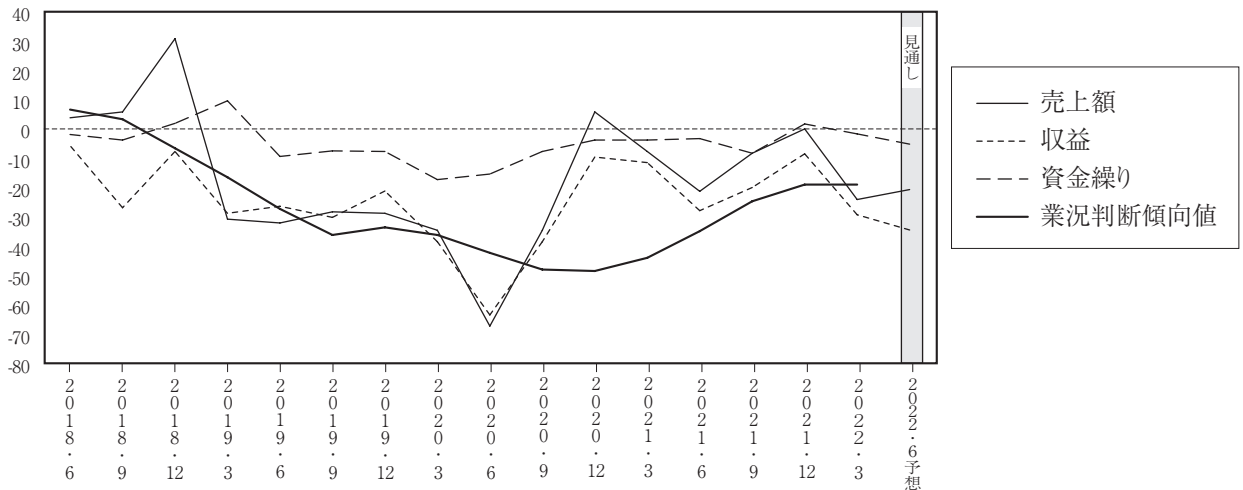
カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
売上額	▲7.7	▲21.3	▲8.3	0.0	(▲18.6) ▲24.1	▲20.7
収 益	▲11.5	▲27.9	▲20.0	▲8.5	(▲22.0) ▲29.3	▲34.5
資金繰り	▲3.8	▲3.3	▲8.3	1.7	(▲6.8) ▲1.7	▲5.2

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



小 売 業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
業況判断	▲82.7	▲58.6	▲64.9	▲39.7	▲77.2	▲63.2

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
設備の水準	▲15.4	▲15.5	▲17.5	▲17.2	▲10.5	▲14.0
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	24.6%			15.8%		

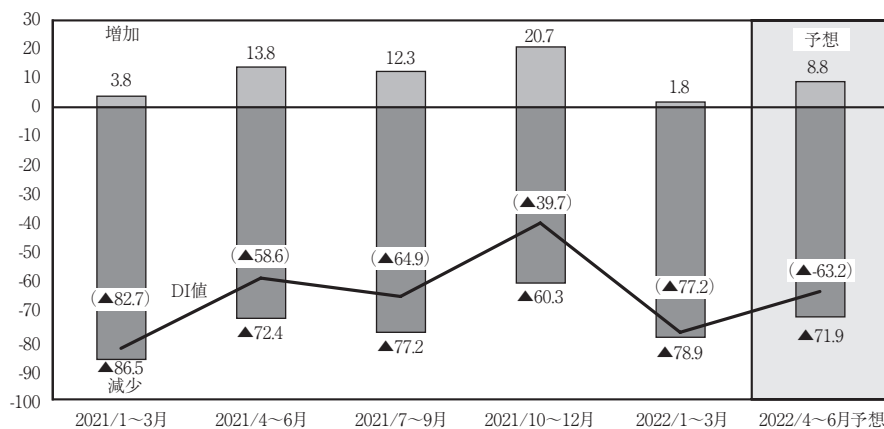
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

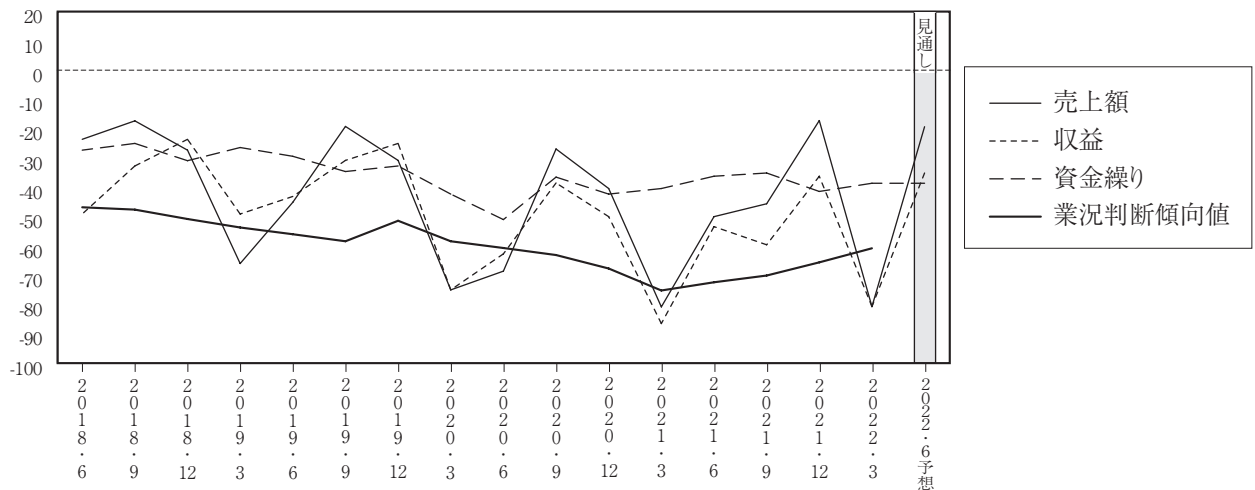
カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
売上額	▲80.8	▲50.0	▲45.6	▲17.2	▲80.7	▲19.3
収 益	▲86.5	▲53.4	▲59.6	▲36.2	▲80.7	▲35.1
資金繰り	▲40.4	▲36.2	▲35.1	▲41.4	▲38.6	▲38.6

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



サービス業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
業況判断	▲59.1	▲53.2	▲47.9	▲39.6	(▲45.8)	▲31.3

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
設備の水準	▲6.8	▲17.0	▲16.7	▲18.8	(▲27.1)	▲16.7
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	33.3%			33.3%		

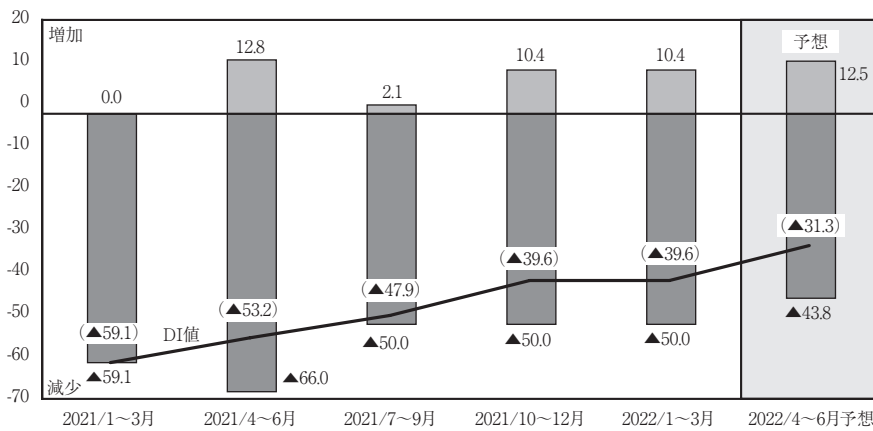
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

(前期と比べて)

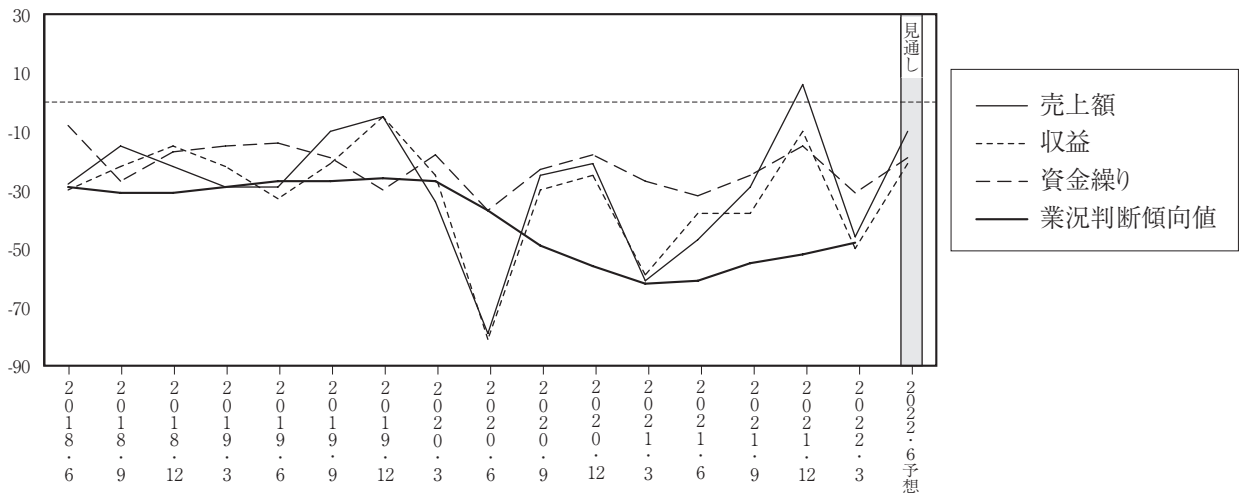
カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
売上額	▲61.4	▲46.8	▲29.2	6.3	(▲22.9)	▲10.4
収益	▲59.1	▲38.3	▲37.5	▲10.4	(▲29.2)	▲20.8
資金繰り	▲27.3	▲31.9	▲25.0	▲14.6	(▲18.8)	▲18.8

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲39.6となり前期と同様となりました。
 主要指標DIは、売上額が▲45.8(前期比52.1ポイント悪化)、収益が▲50.0(同39.5ポイント悪化)、資金繰りが▲31.3(同16.7ポイント悪化)となり主要指標がすべて悪化しました。また、今期設備投資をした企業は33.3%と前期比2.1ポイント増加しました。
 来期の予想DIは、売上額が35.4ポイント増加の▲10.4、収益が29.2ポイント増加の▲20.8、資金繰りが12.5ポイント増加の▲18.8と主要指数がすべて増加し経営環境の改善が予想されます。また、業況判断DIは8.3ポイント増加の▲31.3となり来期の業況の改善を予想しています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 10月~12月	2022年 1月~3月
1	売上の停滞・減少 50.0	売上の停滞・減少 56.3
2	材料価格の上昇 29.2	人手不足 37.5
3	人手不足 25.0	材料価格の上昇 31.3

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 10月~12月	2022年 1月~3月
1	経費節減 54.2	経費節減 62.5
2	人材の確保 41.7	販路を広げる 37.5
3	技術力の強化 35.4	人材の確保 33.3

建設業

●業況判断 DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
業況判断	▲2.4	0.0	▲8.0	0.0	(▲8.0) ▲34.7	▲24.5

●設備投資 DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
設備の水準	▲7.1	▲14.0	▲2.0	▲16.0	(▲12.0) ▲8.2	▲8.2
設備投資した企業割合				設備投資予定のある企業割合		
	30.6%			26.5%		

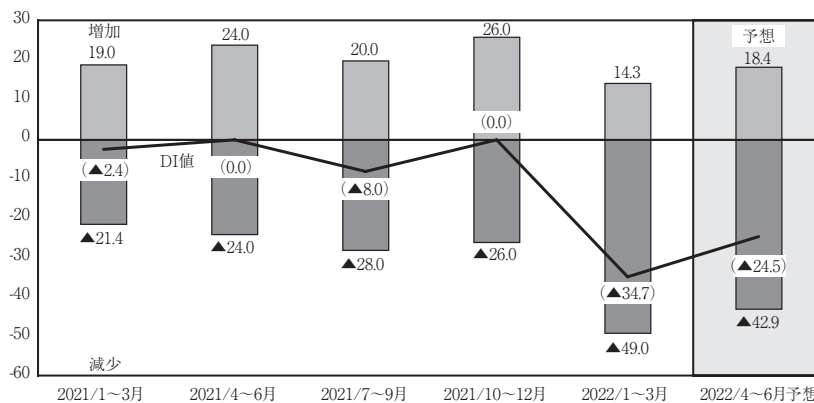
●主要指標 DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

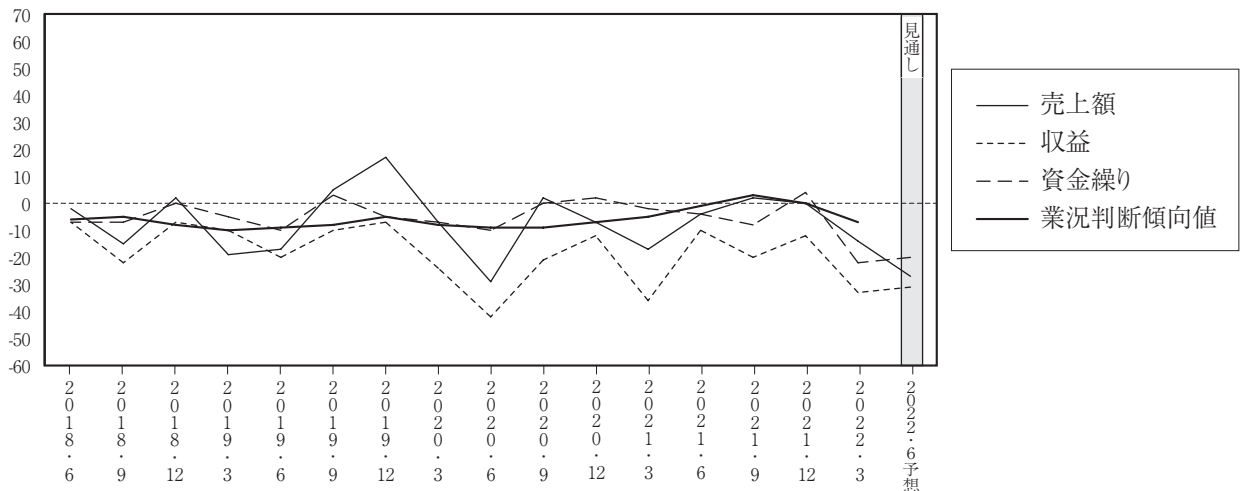
カッコ内は前回調査時予想

	2021/1~3月	2021/4~6月	2021/7~9月	2021/10~12月	2022/1~3月	2022/4~6月予想
売上額	▲16.7	▲4.0	2.0	0.0	(▲16.0) ▲14.3	▲26.5
収益	▲35.7	▲10.0	▲20.0	▲12.0	(▲22.0) ▲32.7	▲30.6
資金繰り	▲2.4	▲4.0	▲8.0	4.0	(▲14.0) ▲22.4	▲20.4

●業況判断



●指標の推移状況(DI値)



今期の業況判断DIは▲34.7となり前期比34.7ポイント悪化しました。

主要指標DIは、売上高が▲14.3(前期比14.3ポイント悪化)、収益が▲32.7(同20.7ポイント悪化)、資金繰りが22.4(同26.4ポイント悪化)となり主要指数すべてが悪化しました。また、今期設備投資をした企業は30.6%となり1.4ポイント減少しました。来期の予想DIは、売上高は12.2ポイント減少の▲26.5、収益は2.1ポイント増加の▲30.6、資金繰りは2.0ポイント増加の▲20.4となり売上高以外の主要指数が増加し経営環境の改善を予想しています。また、業況判断予想DIも10.2ポイント増加の▲24.5となり来期の業況の改善を予想しています。

●経営上の問題点

(単位：%、複数回答)

順位	2021年 10月~12月	2022年 1月~3月
1	材料価格の上昇 60.0	材料価格の上昇 63.3
2	人手不足 48.0	売上停滞・減少 40.8
3	利幅の縮小 26.0	人手不足 32.7

●当面の重点経営施策

(単位：%、複数回答)

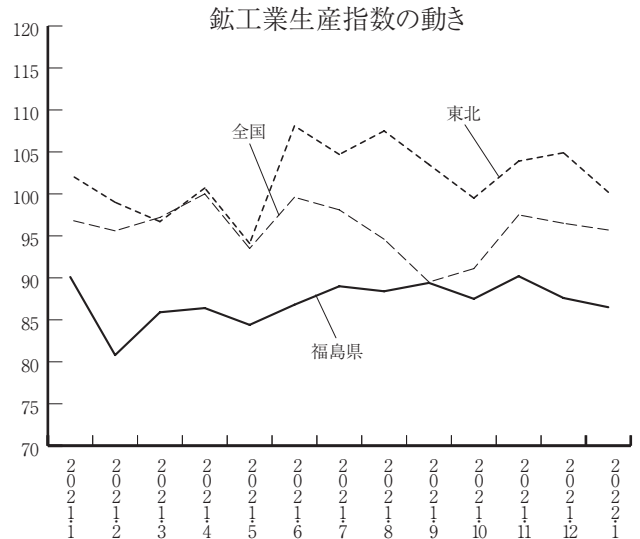
順位	2021年 10月~12月	2022年 1月~3月
1	人材の確保 54.0	経費削減 59.2
2	技術力の強化 50.0	技術力の強化 51.0
3	経費削減 48.0	人材の確保 46.9

経 済 指 標

鉱工業生産指数（生産）

平成27年(2015年)=100.0

	福島県	東北	全国
2021年 1 月	90.1	102.3	96.9
2	80.8	99.0	95.6
3	85.9	96.7	97.2
4	86.4	100.7	100.0
5	84.4	94.1	93.5
6	86.8	108.1	99.6
7	89.0	104.7	98.1
8	88.4	107.5	94.6
9	89.4	103.5	89.5
10	87.5	99.5	91.1
11	90.2	103.9	97.5
12	87.6	104.9	96.5
2022年 1 月	86.5	100.2	95.7

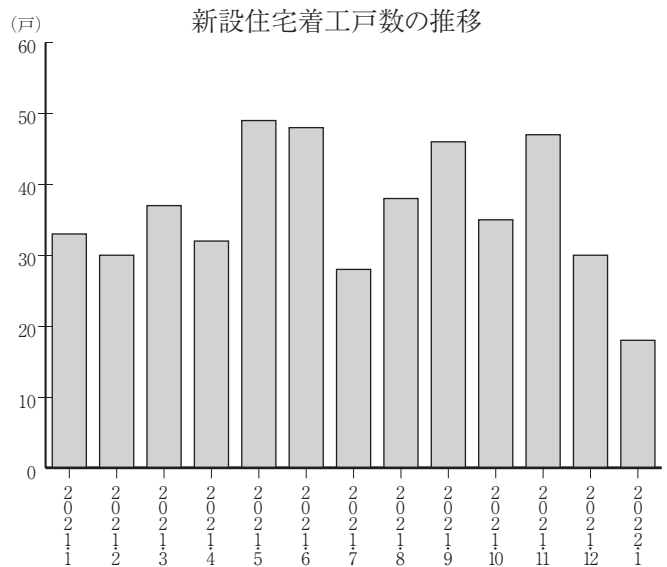


(資料:県統計課産業統計)

安達地方新設住宅着工戸数

(単位:戸)

	二本松市	本宮市	安達郡 (大玉村)	合 計
2021年 1 月	16	14	3	33
2	14	13	3	30
3	14	19	4	37
4	24	4	4	32
5	25	18	6	49
6	25	19	4	48
7	19	8	1	28
8	17	15	6	38
9	15	24	7	46
10	13	15	7	35
11	24	17	6	47
12	7	20	3	30
2022年 1 月	6	8	4	18

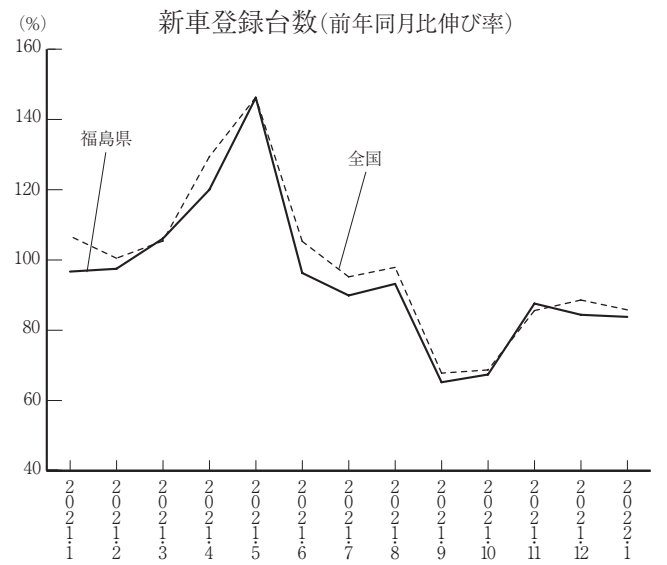


(資料:県土木部建築指導課)

新車登録台数(乗用車・トラック・バス・軽自動車含む)

(単位:台、%)

	福島県		全国	
	台 数	前年比%	台 数	前年比%
2021年 1 月	5,822	96.7%	384,430	106.8%
2	6,526	97.5%	432,296	100.5%
3	10,234	106.1%	612,992	105.4%
4	5,333	120.0%	349,887	129.4%
5	4,819	146.2%	319,317	146.3%
6	5,430	96.3%	365,631	105.3%
7	5,646	89.9%	377,445	95.2%
8	4,692	93.2%	319,694	97.9%
9	4,841	65.2%	318,370	67.8%
10	4,285	67.4%	279,336	68.7%
11	5,636	87.6%	352,453	85.6%
12	4,636	84.4%	336,437	88.6%
2022年 1 月	4,876	83.8%	329,696	85.8%



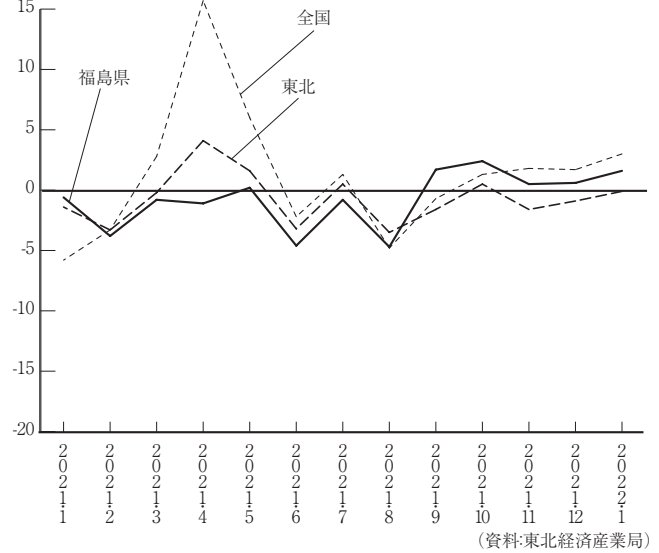
(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会(福島県支部))

福島県大型小売店販売額

(単位:百万円,%) (単位:十億円,%)

	福島県		東北		全国	
	百万円	前年同比	百万円	前年同比	十億円	前年同比
2021年 1 月	23,155	-0.6	109,673	-1.4	1,628	-5.8
2	21,028	-3.8	98,979	-3.3	1,496	-3.3
3	23,027	-0.8	108,866	-0.2	1,670	2.8
4	21,799	-1.1	103,503	4.1	1,552	15.7
5	23,551	0.2	108,253	1.6	1,541	6.0
6	22,567	-4.6	106,490	-3.2	1,642	-2.2
7	23,387	-0.8	110,726	0.5	1,713	1.3
8	24,013	-4.7	112,857	-3.5	1,607	-4.8
9	22,001	1.7	100,871	-1.6	1,556	-0.7
10	22,716	2.4	106,667	0.5	1,651	1.3
11	22,300	0.5	106,136	-1.6	1,707	1.8
12	28,408	0.6	133,580	-0.9	2,139	1.7
2022年 1 月	23,518	1.6	109,534	-0.1	1,676	3.0

大型小売店販売額(前年同月比伸び率)

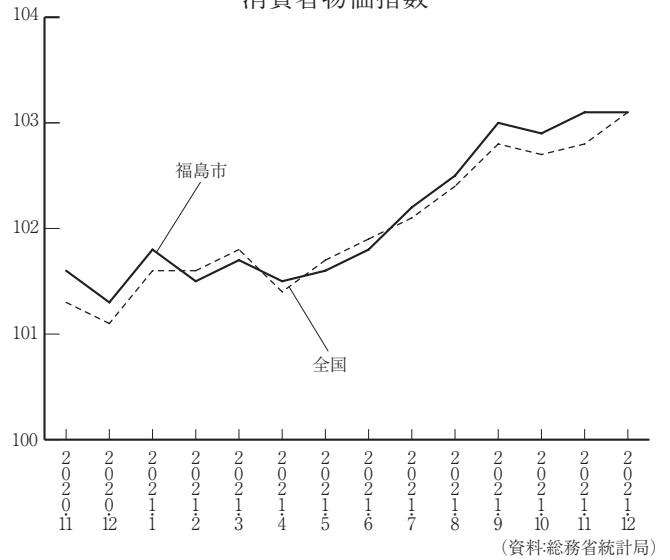


消費者物価指数

平成27年(2015年)=100

	福島市			全国 指数
	指数	前月比	前年比	
2020年 11 月	101.6	-0.5	-1.0	101.3
12	101.3	-0.3	-1.0	101.1
2021年 1 月	101.8	0.5	-0.9	101.6
2	101.5	-0.2	-0.7	101.6
3	101.7	-0.2	-0.6	101.8
4	101.5	-0.2	-0.6	101.4
5	101.6	0.1	-0.5	101.7
6	101.8	0.2	0.0	101.9
7	102.2	0.4	0.5	102.1
8	102.5	0.3	0.4	102.4
9	103.0	0.5	0.6	102.8
10	102.9	-0.1	0.7	102.7
11	103.1	0.1	1.4	102.8
12	103.1	0.1	1.8	103.1

消費者物価指数



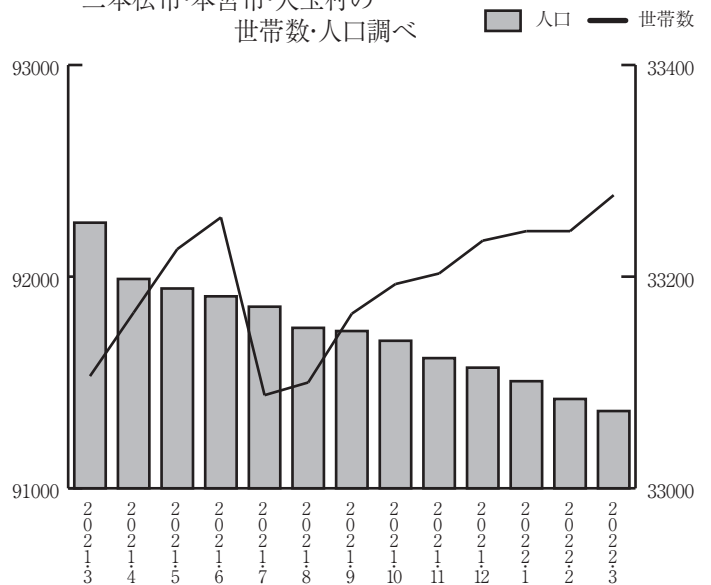
二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ 2022年 3月1日現在 (単位:戸、人)

区 分	世帯数	人口	男女別内訳		人口増減 (対前月)
			男	女	
二本松市	19,503	52,513	25,814	26,699	▲ 62
本 宮 市	10,756	30,111	14,963	15,148	2
安達郡大玉村	3,018	8,741	4,353	4,388	3
総 合 計	33,277	91,365	45,130	46,235	▲ 57

(単位:%)

年齢別 構成比	年少人口 0~14歳	生産年齢 15~64歳	老年人口	
			65歳以上	75歳以上
二本松市	10.5	53.9	35.6	17.2
本 宮 市	12.6	58.5	28.9	14.0
大 玉 村	14.6	57.0	28.4	12.5

二本松市・本宮市・大玉村の世帯数・人口調べ



まつしん景況レポート特別調査 「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

問1 貴社では最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
危機的な悪影響がある	0.0%	5.5%	4.2%	4.2%	3.3%
かなり悪影響がある	39.7%	36.4%	27.1%	29.2%	33.5%
多少悪影響がある	43.1%	47.3%	43.8%	58.3%	47.8%
ほとんど影響はない	13.8%	7.3%	12.5%	6.3%	10.0%
むしろ好影響がある	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	0.0%	3.6%	12.5%	2.1%	4.3%
その他	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%

問2 貴社の原材料・仕入価格は1年前と比較してどの程度変化しましたか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
0～3%程度の上昇	13.8%	16.4%	19.1%	4.2%	13.5%
3～5%程度の上昇	13.8%	18.2%	19.1%	8.3%	14.9%
5～10%程度の上昇	29.3%	23.6%	10.6%	31.3%	24.0%
10～15%程度の上昇	15.5%	25.5%	6.4%	27.1%	18.8%
15～20%程度の上昇	6.9%	10.9%	8.5%	8.3%	8.7%
20～25%程度の上昇	3.4%	1.8%	6.4%	8.3%	4.8%
25～30%程度の上昇	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%

問3 貴社では原材料・仕入価格の上昇のうちどの程度を販売価格に転嫁できていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
転嫁できている	5.2%	9.3%	0.0%	8.3%	5.8%
ほぼ転嫁できている	20.7%	16.7%	8.5%	12.5%	15.0%
ある程度転嫁できている	15.5%	14.8%	12.8%	22.9%	16.4%
多少転嫁できている	10.3%	31.5%	8.5%	14.6%	16.4%
ほとんど転嫁できていない	25.9%	14.8%	19.1%	25.0%	21.3%
全く転嫁できていない	12.1%	9.3%	17.0%	8.3%	11.6%
転嫁どころか販売価格は低下している	3.4%	0.0%	2.1%	0.0%	1.4%
仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし	1.7%	1.9%	2.1%	0.0%	1.4%
わからない	5.2%	1.9%	27.7%	8.3%	10.1%

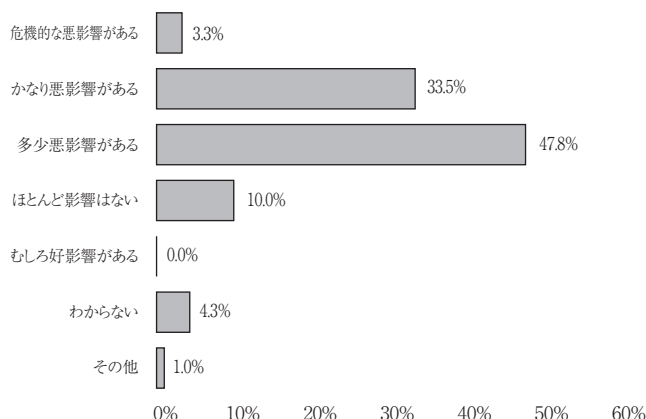
問4 貴社では各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
必要量・質が確保できている（値上げによる調達を含む）	54.7%	40.3%	29.3%	43.8%	42.7%
代替商品の調達（同等品質）	6.7%	11.1%	8.6%	25.0%	11.9%
代替品の調達（品質の見直しなど）	4.0%	5.6%	5.2%	0.0%	4.0%
仕入れ先の変更・多角化	8.0%	8.3%	10.3%	10.4%	9.1%
受注（販売）数量の制限	0.0%	4.2%	1.7%	2.1%	2.0%
受注（販売）の停止	0.0%	1.4%	0.0%	2.1%	0.8%
販売先への納期の調整	12.0%	13.9%	8.6%	10.4%	11.5%

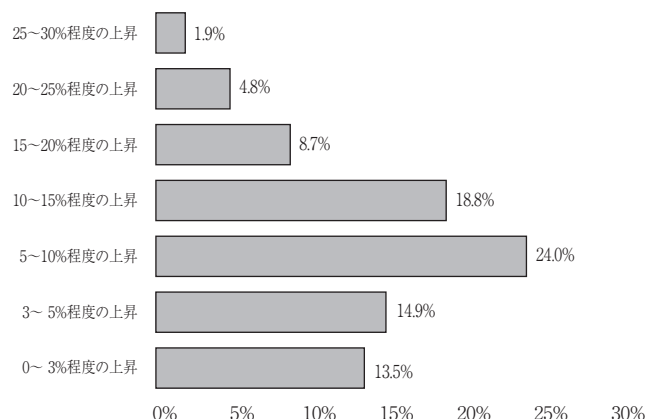
問5 貴社では仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点がありますか。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全 体
仕入価格	22.3%	23.4%	24.7%	24.2%	23.5%
商品の品質	17.9%	17.1%	16.0%	17.6%	17.2%
日頃からの付き合い・紹介	5.4%	6.3%	8.6%	9.9%	7.3%
安定供給力	15.2%	18.9%	8.6%	12.1%	14.2%
支払期日・支払方法	1.8%	3.6%	1.2%	3.3%	2.5%
配送・納期の融通	8.9%	8.1%	4.9%	13.2%	8.9%
注文単位	4.5%	3.6%	2.5%	1.1%	3.0%
SDGs等・環境問題への取組み	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.5%
その他	0.0%	0.9%	1.2%	0.0%	0.5%
仕入先の見直しは検討はしていない	24.1%	18.0%	29.6%	18.7%	22.3%

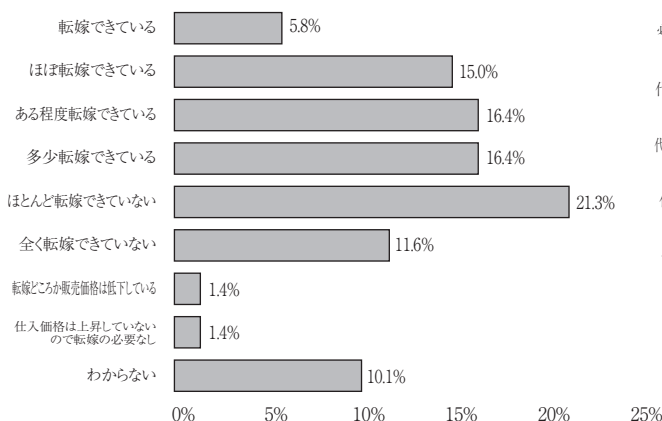
問1. 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。



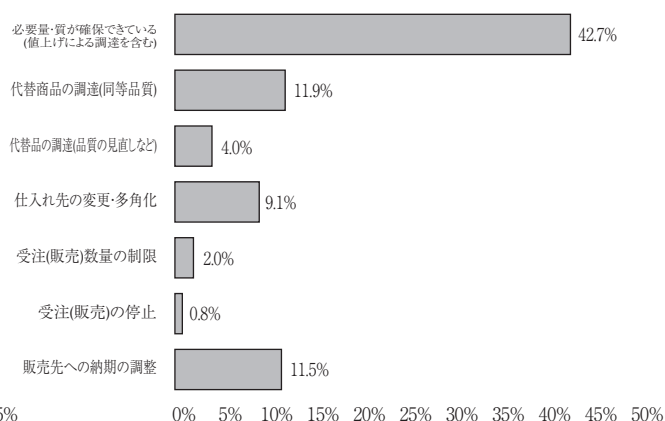
問2. 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。



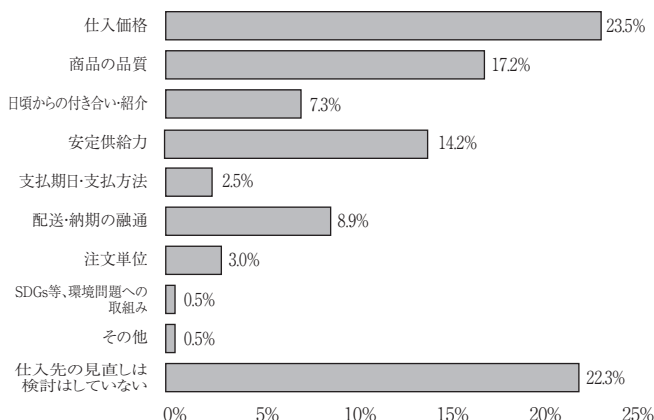
問3. 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。



問4. 貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。



問5. 貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点がありますか。



二本松信用金庫はSDGsに取り組んでいます。

給与振込は まつしんで

まつしん
新生活応援
キャンペーン
実施中!

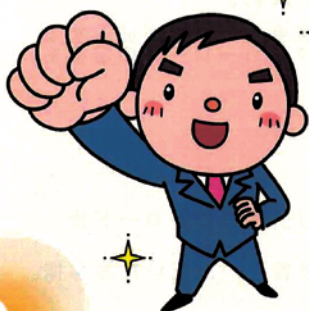
キャンペーン期間

2022年2月1日(火)～9月30日(金)

☆給与振込口座をご指定いただいたお客様に
クリアファイルをプレゼント。

さらに、下記①～⑤のいずれかを同時またはキャンペーン期間中、
ご契約いただいたお客様に

QUOカード500円分をプレゼント!!



- ① カードローン
- ② VISAカード
- ③ マイカーローン
- ④ 定期積金
- ⑤ まつしん通帳アプリ



※詳しいキャンペーン内容については裏面をご覧ください。
または、まつしんの各営業店窓口・融資渉外担当者まで、お気軽にお問合せ下さい。



ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

本店営業部	23-1215	根崎支店	23-0022
本宮支店	33-2159	岩代支店	55-2233
東和支店	46-2104	安達支店	23-3456
金色支店	23-0880		

お問い合わせはお近くのまつしんへ

本店営業部 ☎0243(23)1215	根崎支店 ☎0243(23)0022
本宮支店 ☎0243(33)2159	岩代支店 ☎0243(55)2233
東和支店 ☎0243(46)2104	安達支店 ☎0243(23)3456
金色支店 ☎0243(23)0880	

まつしん景況レポート No.146

- 発行／二本松信用金庫
〒964-0807 福島県二本松市金色久保227番地9
- 発行年月／2022年4月(昭和60年1月 第1号)
- 編集／経営企画部 ☎(0243)23-3696
- <http://www.matsushin.jp>